



■全世界の国々が賛美する

Psa 22:27 地のはての者はみな思い出して、主に帰り、もろもろの国のやからはみな、み前に伏し拜むでしょう。:28 国は主のものであって、主はもろもろの国民を統べ治められます。

Psa 108:3 主よ、わたしはもろもろの民の中であなたに感謝し、もろもろの国の中であなたをほめたたえます。

■異邦人の救い（ローマ人への手紙）

Rom 15:9 異邦人もあわれみを受けて神をあがめるようになるためである、「それゆえ、わたしは、異邦人の中であなたにさんびをささげ、また、御名をほめ歌う（Psa 18:49）」と書いてあるとおりである。

Rom 15:10 また、こう言っている、「異邦人よ、主の民と共に喜べ（Deu 32:43）」。

Rom 15:11 また、「すべての異邦人よ、主をほめまつれ。もろもろの民よ、主をほめたたえよ（Psa 117:1）」。

Rom 15:12 またイザヤは言っている、「エッサイの根から芽が出て、異邦人を治めるために立ち上がる者が来る。異邦人は彼に望みをおくであらう（Isa 11:10）」。

■主の名を呼ぶ者は救われる

Rom 10:11 聖書は、「すべて彼を信じる者は、失望に終ることがない」と言っている。:12 ユダヤ人とギリシヤ人との差別はない。同一の主が万民の主であって、彼を呼び求めるすべての人を豊かに恵んで下さるからである。:13 なぜなら、「主の御名を呼び求める者は、すべて救われる」とあるからである。

■異邦人の王がソロモンに会いに来る

1Kg 10:1 シバの女王は主の名にかかわるソロモンの名声を聞いたので、・・・:9 あなたの神、主はほむべきかな（詩篇卷末、父ゼカリヤ）。・・・

1Kg 10:23 このようにソロモン王は富も知恵も、地のすべての王にまさっていたので、:24 全地の人々は神がソロモンの心に授けられた知恵を聞こうとしてソロモンに謁見を求めた。

■国々が主の光の中に来る

Rev 21:23 都は、日や月がそれを照す必要がない。神の栄光が都を明るくし、小羊が都のあかりだからである。:24 諸国民は都の光の中を歩き、地の王たちは、自分たちの光栄をそこに携えて来る。・・・:26 人々は、諸国民の光栄とほまれとをそこに携えて来る。（Isa 60:1 起きよ、光を放て。あなたの光が臨み、主の栄光があなたの上にのぼったから。）

■恵みとまことはとこしえまで（光が世に来た）

Jhn 1:9 すべての人を照すまことの光があって、世にきた。Jhn 1:14 そして言は肉体となり、わたしたちのうちに宿った。わたしたちはその栄光を見た。それは父のひとり子としての栄光であって、めぐみとまこととに満ちていた。